

平成26年度
総合問題
(生活科学科 食物栄養専攻)

9 : 30 ~ 11 : 00

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 この問題冊子は8ページで、解答用紙は2枚あります。
- 3 試験開始の合図があったら、まずページ数、枚数を確認し（足りない場合は、手を挙げて監督者に知らせること）、全部の解答用紙に受験番号を記入してください。
- 4 試験中に、印刷の不鮮明な箇所やページの脱落などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は、解答用紙の所定の欄に記入してください。
- 6 この問題冊子にある余白は、下書きなどに利用してかまいません。
- 7 試験終了後、問題冊子と受験票は持ち帰ってください。

1 次の図・表は国民の魚介類摂取量の年次推移と年齢階級別を示したものです。後の問いに答えなさい。

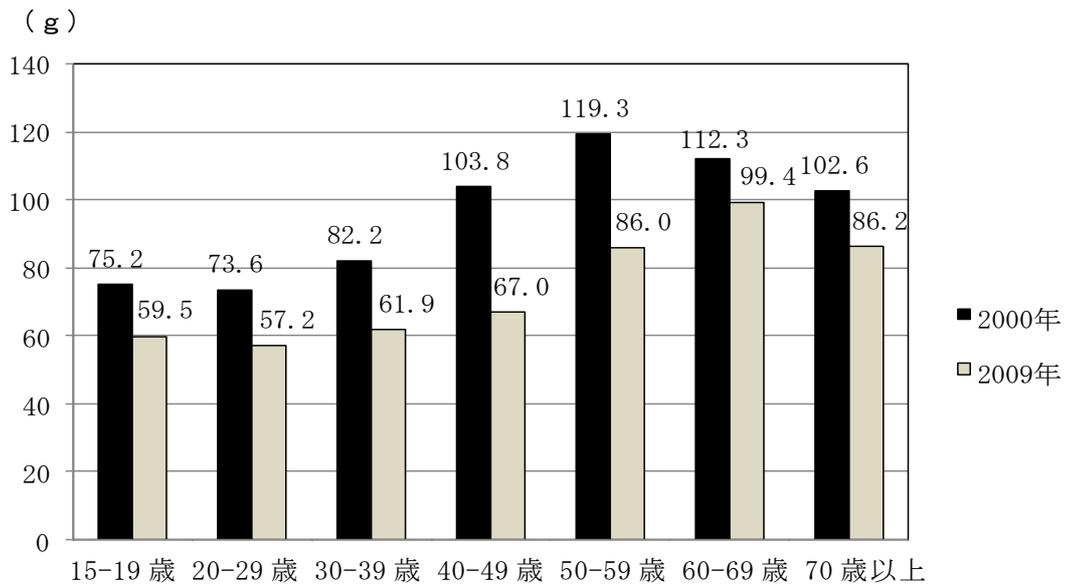
表 国民の魚介類摂取量の年次推移 (1人1日当たり)

(g)

1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2009年
94.0	92.5	90.0	95.3	96.9	92.0	84.0	74.2

(独立行政法人国立健康・栄養研究所監修『国民健康・栄養の現状
 —平成21年厚生労働省国民健康・栄養調査報告より—』
 2012年, 第一出版, p.173より作成)

図 2000年と2009年の年齢階級別魚介類摂取量の比較 (1人1日当たり)



(健康・栄養情報研究会監修『国民栄養の現状 (平成12年国民栄養調査結果)』
 2002年, 第一出版, p.75
 及び独立行政法人国立健康・栄養研究所監修, 前掲書, p.65より作成)

問 1 図・表の変化より読み取れることを 200 字以内で述べなさい。

問 2 問 1 の変化の要因についてあげられることを踏まえて、今後、魚介類の摂取がどのようにあるべきと考えるか、300 字以内で述べなさい。

2 次の表と資料を見て、後の問いに答えなさい。

表 朝食の欠食率の年次推移（1歳以上、性・年齢階級別）（平成15～22年）

(%)								
男性	平成15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
総数	12.0	12.5	12.9	13.1	13.7	14.0	14.2	13.7
1～6歳	4.8	4.8	5.9	5.8	6.3	5.7	5.8	5.5
7～14歳	3.8	3.7	4.5	5.8	6.7	6.3	6.0	5.6
15～19歳	14.2	15.7	15.9	15.6	15.5	15.8	16.2	14.5
20～29歳	30.1	32.3	32.6	30.7	29.7	30.5	30.9	29.7
30～39歳	24.5	25.3	25.2	26.7	26.9	29.0	28.0	27.0
40～49歳	16.4	17.0	18.7	18.3	21.5	21.0	21.8	20.5
50～59歳	10.5	10.8	11.8	12.2	13.3	13.1	13.8	13.7
60～69歳	4.3	4.7	5.2	6.3	7.1	8.2	8.8	9.2
70歳以上	2.7	2.9	2.6	2.8	3.4	4.3	4.6	4.2

女性	平成15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
総数	8.4	8.6	8.6	9.1	10.2	10.7	10.7	10.3
1～6歳	4.8	4.7	5.6	6.4	6.8	5.6	4.6	4.4
7～14歳	3.7	3.3	3.1	4.3	5.1	6.0	5.4	5.2
15～19歳	13.0	12.6	11.3	11.7	11.6	10.5	11.4	14.0
20～29歳	22.1	23.1	22.7	23.7	24.6	24.8	26.0	28.6
30～39歳	13.3	14.3	14.6	15.1	17.3	18.7	18.3	15.1
40～49歳	8.1	8.6	9.7	11.4	12.9	13.2	14.0	15.2
50～59歳	7.4	8.1	8.4	8.6	10.3	11.2	11.5	10.4
60～69歳	4.9	5.0	5.0	5.1	6.1	7.0	7.1	5.4
70歳以上	3.1	3.2	2.6	2.9	3.7	4.6	4.9	4.6

注 「欠食」とは、下記の3つの合計である。

食事をしなかった場合

錠剤などによる栄養素の補給、栄養ドリンクのみの場合

菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみを食べた場合

（独立行政法人国立健康・栄養研究所監修『国民健康・栄養の現状
 —平成22年厚生労働省国民健康・栄養調査報告より—』2013年、第一出版、p.40）

資料

「健康日本21（21世紀における国民健康づくり運動・厚生労働省策定）」（平成12年度からの第3次国民健康づくり対策）による「朝食を欠食する人の割合の減少」に関する目標値	
中学、高校生	0%
男性（20歳代）	15%以下
男性（30歳代）	15%以下

問 1 朝食の欠食率の年次推移の特徴を 500 字以内で述べなさい。

問 2 朝食の欠食率の改善のためにはどうしたらよいか,あなたの考えを箇条書きで示しなさい。

